



平成26年1月15日
四国地方整備局

四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成25年度第3回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成25年7月から平成25年9月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成25年12月17日(火)
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 三枝 茂 樹 (内線2114)

契約管理官 今 城 敏 雅 (内線2222)

技術開発調整官 近 藤 秀 樹 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第3回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年12月17日(火) 高松サポート合同庁舎 13階会議室					
委員 (部会委員5名)	部長	近藤 光男(徳島大学大学院教授)				敬称略
	委員	大西 均(公認会計士)				委員は50音別
	委員	柴田 潤子(香川大学大学院教授)				
	委員	島 弘(高知工科大学大学院教授)				
	委員	白井 一郎(弁護士)				
審議対象期間	平成25年7月1日～平成25年9月30日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工事	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 那賀川左岸高潮堤防工事(その4)	(株)島田組	160,650	1	96.60
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成25年度 久枝地区堤防(その2)工事	(業)竹内・新輝	224,773	1	94.45
	随意契約	平成25年度 船木防災工事	白石建設工業(株)	63,000	/	95.56
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成25年度 四国管内橋梁診断業務	(一財)橋梁調査会	79,800	2	96.20
	簡易公募型プロポーザル	平成25年度 横瀬川ダム温度応力検討外業務	(株)建設技術研究所	33,757	3	99.78
役務及び物品	一般競争	平成25年度 四国管内テレメータ装置製造	富士通(株)	99,750	2	86.16
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況 ④事務所ごとの平均落札率等(一般土木工事C等級)について					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回 答
<p>平成25年度 那賀川左岸高潮堤防工事(その4)</p> <p>参考までにお聞きますが、最近は不調・不落が多いようだが、全般的にどういう状況にあるのか。</p> <p>参加可能な業者は何社あったのか。</p> <p>地域要件を徳島県南部(阿南市、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町)としているが、地域要件を広げることが検討しなかったのか。</p> <p>仮にこの工事が不調・不落だった場合は、地域要件を広げて再発注するのか。</p> <p>工区割を大きくして、1工事を大きくすると専任技術者要件の間接的な緩和になるのではないか。</p>	<p>技術者、資機材、建設機械及び専門職種の不足、などの要因により、全国的にも不調・不落工事が発生している。</p> <p>12社が参加可能であった。</p> <p>地域要件は例年どおりであり、昨年までの状況から地域要件を広げなくても問題ないと考えている。</p> <p>発注時期をずらすことで対応できると考えているが、それも難しいときは地域要件の拡大も検討する。</p> <p>本工事を含めて津波対策工事は、平成27年度の完成を目指して、できるだけ早く完成させたいということから、昨年度の施工量実績等を参考にして工区割している。また、1工事に平均5～6社の参加者があることから、現時点では問題ないと考えている。</p>
<p>平成25年度 久枝地区堤防(その2)工事</p> <p>9社の内8社が入札無効になり、残った1社が落札しているが、落札率94.4%は高いのではないか。</p> <p>本入札の参加業者は、調査基準価格の算定率(一般管理費)が変更になった事を知っていたのか。</p> <p>落札業者の評価点は高くないが、他社が入札無効になり1社だけが有効となったので加算点が満点評価になっていることに疑問を感じる。</p>	<p>平成25年5月16日以降に公告する工事より、調査基準価格を算定するための一般管理費が30%から55%に見直されており、その影響が出ているのかもしれない。</p> <p>一般管理費の見直しに関する公表は平成25年5月14日であり、本案件の公告以前に公表されているため、入札参加業者はその変更を知り得たはずである。</p> <p>入札が有効な業者は1社であり、総合評価方式にのっとり評価した結果である。</p>

(2) 随意契約	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 船木防災工事</p> <p>請負金額はどのようにして決めたのか。</p> <p>予定価格はどのように算定したのか。</p> <p>今回の工事に、アンカー工事も含まれるのか。</p> <p>異状発見から工事発注まで短期間で行っているが、設計は職員自ら行ったのか。</p>	<p>業者の提出した見積価格が予定価格を下回っていたので、見積価格で契約した。</p> <p>すでに契約していた点検業務の成果をもとに数量を算出し、事務所で算定した。</p> <p>アンカー工事は本工事の契約後に、別工事で発注し契約している。</p> <p>別途契約済みの法面点検業務に地質・ボーリング調査及び設計の追加指示を行い、地すべり面の推定と排土量の計算を行った。</p>
(3) 簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 四国管内橋梁診断業務</p> <p>参加要件を見るとさほど厳しいとは思われないが、どうして2社の応札となっているのか。</p> <p>この業務は特殊な業務であるということか。</p> <p>四国に本社がある会社は手を上げていないがその理由は。</p>	<p>本業務は、技術者に高い業務スキルが求められており、相応の技術者を配置する必要があるため、2者の応札となったと考えている。</p> <p>本業務は、別途各事務所で発注された橋梁点検業務の教育・指導等を要する専門的な知識及び、高い業務スキルが求められるものである。</p> <p>専門的な知識及び、高い業務スキルが必要であるためだと考えている。</p>
(4) 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成25年度 横瀬川ダム温度応力検討外業務</p>	

<p>参加可能な業者は何社あるのか。</p> <p>参加可能な業者が少なかったが、今回の参加業者数は予想されていたことか。</p> <p>プロポーザル方式は、価格は評価しない方式か。</p> <p>プロポーザル方式は、あらかじめ予定価格を決めて、業者から価格を提示してもらい契約金額を決めるのか。</p> <p>業務量の目安を提示しているのに、落札率が100%以外があるがどうしてか。</p> <p>予定価格はどのようにして決めるのか。</p> <p>プロポーザル方式の契約金額について、これまでに問題はなかったか。</p>	<p>同種業務では5社、類似業務では11社が参加可能である。</p> <p>現在は厳しい状況にあると考えられるが、適切な競争環境は確保されていると想定していた。</p> <p>技術者の経験・能力及び技術提案により業者を特定する方式である。</p> <p>入札説明書において、業務量の目安を提示しており、その金額程度で実施できる業務の質について参考見積書を提出するようになっている。最終的には、特定した参加者から見積書の提出を受け、予定価格の範囲内で契約金額を決める。</p> <p>たとえば、交通費の積算方法の違いなどによって変わってくる場合がある。</p> <p>予定価格は、特定した参加者からの見積もり及び設計業務等標準積算基準書に基づいて、発注者が算定している。</p> <p>発注者が要請した業務内容と業務量に不整合があった案件が過去にはあった。</p>
--	---

(5)一般競争入札(役務・物品)

意見・質問	回答
<p>平成25年度 四国管内テレメータ装置製造</p> <p>機械の製造に関しては、仕様書を見れば機械全体の仕様がわかるものなのか。また、性能が変わることはないのか。</p> <p>新しい装置を、四国全域に設置するのか、それとも既に設置している所はあるのか。もし、先行して設置している場所があれば、教えていただきたい。</p> <p>既存の業者が有利ではないのか。</p> <p>機械系は調査基準価格が低いのか。</p>	<p>今回の製造は、本省で作成した全国統一の仕様書を使用しており、機器の性能が各社毎に異なることとはないと考える。</p> <p>四国管内で、今回と同じ仕様書によつての発注は、昨年度に1件あった。今回は、管内の7事務所において同じ仕様書によつての発注であったので本局においてまとめて発注を行った。</p> <p>既存の業者が有利だとは考えていない。</p> <p>役務に関しては、工事とは異なり予定価格の6割である。</p>

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回 答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）、低入札の発生状況について

意見・質問	回 答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回 答
特になし	

5. 事務所ごとの平均落札率等（一般土木工事C等級）について

意見・質問	回 答
特になし	

6. 全体について及びまとめ

土木・建設業界における技術者・資機材不足などが起因して、入札・契約手続きも過去に比べて厳しい状況にあると感じる。今後、事業が円滑に進むように入札・契約手続きについても柔軟に対応していただきたい。
